

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	21221001	研究期間	平成21年度～平成25年度
研究課題名	レーザー分光法による都市の大気質診断とオキシダント制御に関する研究	研究代表者 (所属・職) (平成26年3月現在)	梶井 克純（京都大学・大学院地球環境学堂・教授）

【平成24年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、改善が進んでいないオキシダントによる大気汚染に対処すべく基礎的かつ実証的な研究であり、成果は着実に挙がってきていると判断できる。未知の物質の探索ということで、その数及び役割の評価により本研究の価値が大きく左右されると考えられ、時間との兼ね合いもあるが、当初の目的の達成と新たなプロセスの解明へ前進してほしい。</p> <p>なお、研究分担者等の所属異動により、研究体制が十分ではないとの懸念があり、最終目的であるモデルによる評価については、研究体制や予定などが研究進捗状況報告書等にはほとんど記載されておらず、実施できるのか危惧されるので改善が望まれる。</p>	

【平成26年度 検証結果】

検証結果	<p>当初の研究目的であるオキシダント生成に寄与している未知 VOC の探索について、レーザー法による OH 反応性を評価することにより、種々の発生源についての未知 VOC の測定結果が得られた。またその生成プロセスについても示唆が得られており、当初の予定に沿った成果が達成されている。</p> <p>なお、研究進捗評価結果で指摘されたモデルによる評価については、研究成果報告書にも記載されておらず、成果を確認することができなかった。今後、論文発表に加えて、オキシダント制御についての提言等、社会的発信を期待する。</p>
A	